東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2005 年 12 月 9 日

定理と予防策

ムスリムの皆様。崇高なるアッラーは、万物を創造され、そしてそれらにおいて、物理的、社会的な法則を定められました。例えば水は、**100** 度で沸騰し、また **0** 度になると凍ります。物体を空中で放すと、重力の法則に従って下に落ちます。ある社会において売春がはびこると、正しくないやり方で生まれてきた子供の数が増えます。そして結果として、安定や治安が脅かされます。人々が貧困層に対し援助を行なわなければ、社会の階層化が起こり、社会不安が勃発します。これらを定められたのは、完全なる裁き者であられるアッラーなのです。

崇高なるアッラーは、定められたこれらの定理にしもべたちが気づき、それによって生き方を改めることを望まれておられます。これらの法則に気づき、それに従って生きることとは、アッラーの定められた事々に従って生きる、ということなのです。

これらの一端には、水の浮力を利用する船、ガスを圧縮することによって燃焼を起こさせ、浮力をもたらすエンジンによって飛ぶ飛行機、反射の原理を利用して発展したレンズによって、衛星からもたらされる映像などがあります。これらは皆、アッラーが定められた物理的法則の発見によるものではないでしょうか。また、歴史において、決して崩壊することはないと思い込み、自分たちを完全な力の持ち主だと見なした多くの帝国が、社会的法則を無視した故に崩壊したのではなかったでしょうか。

ムスリムは、まず、クルアーンやこの世界に糸口が示されているこれらの法則を見出す必要があります。そして、それに従って生きるよう努めなければなりません。そしてムスリムは、こういった生き方を実行するに従って、よりアッラーに近く、よりアッラーに愛されるしもべとなることができるのです。怠慢、身勝手、道徳の欠如、不正といったよくない状態は全て、ムスリムが決して陥るべきではないあり方だということが、ここから読み取れます。なぜなら、これらによってもたらされるものは、アッラーの定めにより、確実に人々に害を与えるものであるからです。これらの害はこの世で出現するのと同様に、あの世においても現れうるのです。

ムスリムの皆様。ここで私がお話したい点は、前もって気をつけておく、ということと、その実現との間のつながりが、アッラーの定めである、ということです。

もし予防策をとらなければ、例えばヘルメットをかぶらずにノミを振るっていれば、あなたの頭に当たった石が、あなたに死をもたらす可能性すらあります。もしあなたが、成功するため、発展するため、脇を引き締めて注意をしていなければ、当然、努力している人たちはあなたたちよりもさらに発展していくでしょう。もしあなたが、道徳的な次世代の育成に重きを置かなければ、彼らは道徳心に欠け、祝福されない人々となるでしょう。

忘れないでください。どのような結末であれ、それは勝手にそうなったのではないのです。人が植えたものが何であれ、刈り取るものもまた、それなのです。どれほど植えたかによって、どれほど刈り取るかも決まってくるのです。努力の結果がそこに現れるのです。これが、前もって気をつけておく、ということなのです。言い換えるなら、これは、努力し、振舞いに注意を払い、備えのできた状態である、ということでもあります。そうでなければ、預言者ムハンマドはなぜ、なぜヒジュラの際、洞窟に隠れられたのでしょう。なぜ塹壕の戦いの際、マディーナの周囲に塹壕を掘られたのでしょう。彼は預言者だったにもかかわらず、なぜ、苦しい事態に陥るたびに奇跡が起こるとしなかったのでしょう。預言者ムハンマドは、アッラーの定められた法則に従われたのです。このようにして私たちへの例となることも望まれたのです。

私たちの我執、そして全てのムスリムについて、アッラーのどの定めに従うことができていないのかを再度考えましょう。そしてその方面で注意するようにしましょう。前も手の努力の後、その実現は，アッラーの御手によるものなのです。